新規事業採択時評価結果(平成31年度新規事業化箇所)

事業の概要

 事業
 一般県道 高松坂出線(五色台工区)
 事業 区分
 地方道 章本
 香川県

 起終点
 自:香川県高松市生島町
至:香川県坂出市青海町
 延長
 6.6km

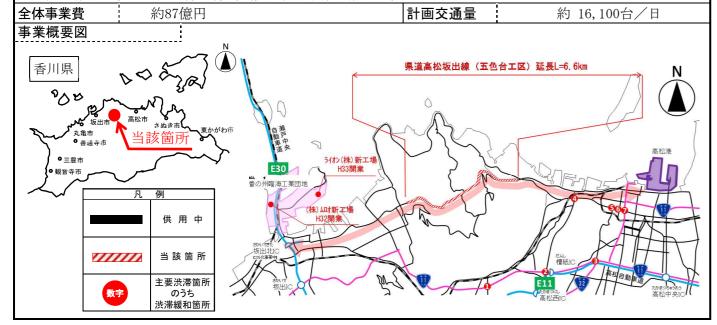
事業概要

さぬき浜街道は、瀬戸大橋のアクセス道路及び本県の広域幹線道路網の一環として、高松市から坂出市、丸亀市、三豊市を経て観音寺市に至る主要幹線道路である。この道路は、県都高松市及び中・西讃地域の臨海部と瀬戸大橋の坂出北インターチェンジを直結する路線であり、一般県道高松坂出線は、その一部を構成する、延長10kmの道路である。そのうち、現在2車線区間である延長6.6kmを4車線化及び歩道を設置する事業である。

事業の目的、必要性

県道高松坂出線は、下記に資する道路である。

- ・高松港と番の州臨海工業団地のアクセス向上による物流機能の強化
- ・正面衝突などの重大事故の回避及び自転車や歩行者の交通安全の確保
- ・並行幹線道路の交通渋滞緩和
- ・防災機能強化港などを繋ぎ第1次輸送確保路線の機能強化



関係する地方公共団体等の意見

地元高松市及び坂出市より、早期整備の要望を受けている。

学識経験者等の第三者委員会の意見

事業採択の前提条件

- ・費用対便益:便益が費用を上回っている。
- ・地元自治体から早期整備の要望を受けており、都市計画決定も完了するなど、円滑な事業執行の環境が整っている。

事業評価結果

費用便益分析	B∕C		2	終費用 70億円 終便益 201億円 基準年
析			交通量	養変動 B/C=2.6 (交通量 -10%) B/C=3.2 (交通量 +10%)
	感	度分析の結果	事業費	費変動 B/C=2.6 (事業費 +10%) B/C=3.2 (事業費 −10%)
			事業期	間変動 B/C=2.8 (事業期間 +20%) B/C=2.9 (事業期間 -20%)
事業の影響	評価項目		評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	0	交通の転換により、慢性的な渋滞が発生している周辺道路の混雑が緩和 【交通渋滞の緩和】 主要渋滞箇所7箇所 (①国分寺支所前交差点、②檀紙交差点、③峰山口交差点、
				① 金田市 (金田市 (金田市 文 左 派、 金田市 文 左 派 金田市 文 左 派、 金田市 文 左 派 会 本 会 本 会 本 会 本 会 本 会 本 会 本 会 本 会 本 会
		事故対策	0	上下線を構造的に分離することにより、重大事故が減少 【正面衝突による事故率】 当該事業(2車線)区間:18% ※県平均(県管理道路)3%の約6倍 死亡事故(H26~H28):2回
		歩行空間	0	トンネル内に歩道が設置されるため、歩行者等の安全を確保。
	社会全体への影響	住民生活	_	注目すべき影響はない
		地域経済	0	新たな工場建設が進む番の州臨海工業団地への貨物輸送量の増加が見込まれる高松 港とのアクセスを向上させることにより、経済活動の活性化に寄与
		災 害	0	第1次輸送確保路線の機能強化 防災機能強化港(高松港・坂出港等)や多数の防災拠点施設を繋ぎ、災害時におけ る輸送機能を強化
		環 境	_	注目すべき影響はない。
		地域社会	0	高松市と中・西讃地域の臨海部とのアクセス向上により、当該事業区間を利用した 交流人口の拡大に寄与。
事業実施環境			0	・都市計画決定 (H31.3.5) ・地元高松市及び坂出市より、早期整備の要望を受けている。

<u>担</u> 当 課:道路局環境安全·防災課 担当課長名: 野田 勝

採択の理由

事業主体である香川県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が2.9と便益が費用を上回っており、事業 採択の前提条件が確認できる。

また、高松港と番の州臨海工業団地のアクセス向上により、物流機能が強化されるとともに、交通渋滞緩和 や災害時における緊急輸送道路の多重化などが図られることから、当該事業整備の必要性・効果は高いものと 判断される。

以上により、本事業を平成31年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。